

小室小学校 農業体験教室

田植えに挑戦!

6月21日、小室小学校の5年生が農業体験教室として、伊奈町農業経営者連絡協議会の方々による指導のもと、田植えを行いました。生徒たちは、ぬかるむ田んぼに足をとられないよう気をつけながら、ていねいに苗を植えていました。生徒たちが丹精込めて植えた稲。これから秋の収穫が楽しみです。



参加者の声



つじもと たかひろ
辻本 尊啓さん

今日初めて田植えを体験しました。思っていたより足が深く土にはまってたいへんでした。一日だけでもこんなたいへんなのに、毎年やっているなんてすごいなと思いました。もしも、ぼくだったら絶対にあきらめてしまっし、仕事をさぼってしまうと思う。だからこれからもお米づくりをがんばっていつてほしいなと思います。



まさき あやこ
正木 綾子さん

田んぼに入る前は、「どろどろしているのかなあ」と思って、少し入りたくないなあと思っていました。けど入ってみると、どろどろも少し気持ちよくておもしろかったです。なえを持ったのも初めて、この部分はこんな色



ごと みずき
五島 瑞希さん

だっただんだ！などわかったことがたくさんありました。

最初は、よごれたりドロドロした感触がいやだなあと思っていたので、田んぼにあまり入りたくありませんでした。入った後、よごれた所などが気になっていたけど、田植えをしているうちに、だんだん気にならなくなって、逆に楽しくなっていました。私は年をとっておばさんぐらいになったら、米作りをやってみたいなあと思いました。



いとう だいち
伊藤 大智さん

6月21日に、総合の時間に田植えに行きました。田んぼに入って歩こうとしたら、どろで重くなって進みづらかったです。稲を植え終わったら、小さい用水路で足を洗いながら、「ここで働いている人たちは、きつくないのだろうか」と思いました。



かまくら 謙倉 わたる 巨さん

田んぼのド口水に入るとき、とてもぬるぬるしました。だけどもぬるぬるとしても気持ちよくなりました。苗を植えるとき、時々2、3本に分けられないときがあります。そのときは、とっても大変だと思いました。でも、いろいろと米作りは楽しいことがあります。かかし作りや稲刈り、米の料理などおもしろいことがあります。



むらかみ あやか 綾香さん 村上

最初は「けっこうかんたんそうだなあ」と思っていました。でも、田んぼに入ったとたんころびそうになったので、びっくりしました。苗を植えている途中もころびそうになって、「田植えてっこんな大変だったんだ」ということがわかりました。でもとても楽しかったので、またやりたいです。



あか べ 岡部 りょうじ 凌士さん

特に印象に残ったのは、いねを持ったことです。いねを初めて持ったときは、とてもうれしかったです。大変だったのは、田んぼから足をぬくときでした。足がひざ近くまでつまっていたので、すごく重く感じました。けれどとても楽しかったです。10月の稲刈りが今から楽しみです。



こ み 小見 まこと 真琴さん

田植えをするのは初めてで、ドキドキしていました。

最初に、田植えの手順などのお話があったあと、一束の苗をもらって田んぼに入りました。入ったときは、ズボツと足がはまって気持ち悪かったです。だんだんひんやりして気持ちよかったです。今度の稲刈りが楽しみです。



あいざわ ふ み 相澤 芙美さん

「田植えがあります」と言われたときは、ちよつとドキツとしました。初めてだからです。田んぼに入ると、どろがネチャネチャして歩きにくかったです。うまくできるかとても心配だったけど、なんとか上手にできたと思います。私は楽しかったけど、農家の人は大変だと思いました。



なか ね よしあき 中根 佳晃さん

ネチヨネチヨしていて、おもしろかった。少しピチャピチャどろがはねたけど、意外と楽しかった。田んぼには、

生き物が少しじゃなく、たくさんいるとあらためて知った。用水路には、草がたくさんながれていた。よくこんなに植えられるなあと思う。中心からみると一面みどりだった。



はす み ひろあき 蓮見 宏明さん

ぼくは、今日田植えをしました。合計6束のいねを植えました。最初はコツをつかめなくて、植えてもすぐに倒れてしまいました。農家の人にきいて、土にさせば立つというヒントをもらい、途中でコツがつかめるようになりまし。みんなに上手だねと言われてうれしかったです。みんなと楽しく田植えをやれてよかったです。10月のいねかりが楽しみです。



たか だ り こ 高田 梨瑚さん

田んぼの中に入るとヌルヌルしていて、ドロの中に手を入れると奥はつめたくなっています。2〜3本の苗をとり、まっすぐ3センチほどの深さに植えました。となりの田んぼは機械で植えられていて、自分たちが植えた所とまったくちがいました。「昔の人はこんな苦労しながらお米を作っていたんだなあ」と実感しました。お米を作ってくれた人をもって、大切に食べていきたいです。